

平成27年度 北上市技能功労者

～優れた技能で産業の発展に貢献～

27年度北上市技能功労者表彰に、7人の皆さんが選ばれました。優れた技能をもって市の産業の発展に功労のあった技能者を表彰するもので今回で13回目。卓越技能功労賞は45歳以上で15年以上の実務経験者、青年卓越技能功労賞は25歳以上45歳未満で3年以上の実務経験者が対象となっています。



大村 幸司さん
(45歳・鬼柳町)

卓越技能功労賞

【金属プレス工】
精密板金加工に長年従事。優れた知識と技能を駆使し、顧客の要求に応える姿勢は、事業所内外から高い評価を得ている。生産技術グループのリーダーを務め、加工用治具の考案や行程改善を積極的に、品質の安定と工数短縮に大きく貢献している。



菅野 正幸さん
(73歳・口内町)

卓越技能功労賞

【建築大工】
木造の伝統的な工法による家大工でありながら、神社仏閣の建築にも携わり、茶亭の建築にも優れた技能を持っている。近年は、林業普及指導協力員として大工の視点から建築材としてアオモリヒバに着目し植栽を始めるなど県産材の普及にも貢献している。



平野 一美さん
(59歳・諏訪町)

卓越技能功労賞

【地質調査技師】
長年土質調査業務に従事し、採取した試料の特性をあらゆる角度から分析できる能力は高く評価されている。年間およそ150件の建築物や道路・橋りょうなどの地質調査に携わり、市民の安心安全な生活基盤の源を築いている。



柳谷 博康さん
(45歳・和賀町長沼)

卓越技能功労賞

【金属手仕上工】
県内で9人目となる一級手仕上げ技能士の資格を有し、高度な切削技術を駆使した作業で寸法、表面粗さ、段取り能力は特に卓越している。他企業から招かれ講義・指導を行うなど、経験に基づいた親身な指導で企業の垣根を超えた人材の育成に貢献している。



小原 貴幸さん
(37歳・金ヶ崎町西根)

青年卓越技能功労賞

【建築大工】
建築大工として、施主の要望に的確に対応できる技術を持ち、注文住宅における技法の習得、改善に努め社内外から高い評価を得ている。棟梁としての気概にあふれ、後進の育成に大きく貢献。安全意識が高く、現場でのリーダーとして囑望されている。



柏葉 秀徳さん
(42歳・鬼柳町)

青年卓越技能功労賞

【配管工】
配管技術に関する技能資格を数多く有し、水道本管工事や給排水工事などへの広範囲の施工管理能力を備えている。特にガスヒートポンプエアコン設置工事において、迅速な作業の進め方や工程調整能力が発注者から高い評価を得ている。



佐藤 健治さん
(35歳・花巻市高木)

青年卓越技能功労賞

【旋盤工】
旋盤加工において、幅広い知識と技能を持ち、高い精度が要求される医療機器の部品加工に従事している。治具製作などにより生産性や品質の向上に貢献している。人望が厚く、旋盤加工グループではリーダーを務め、後輩の指導に積極的に取り組んでいる。

百歳
これからも
お元気で

市は、12月に満百歳を迎えた渡辺さんに、祝い状と記念品を贈り長寿を祝いました。

渡辺マツさん(立花)は、正4年12月24日生まれ。24歳で故太吉さんと結婚し、子4人、孫9人、ひ孫9人に恵まれています。昔から働き者だというマツさんは、現在も身の回りのことは自分でやっており、デイサービスへ通所し、友人との会話を楽しみにしているそうです。百歳の感想を聞かれると「みなさんのおかげ。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べていました。



祝い状を手にするマツさん(中央)

市の動き

北上市参加型緑化「みどりのまち育て」の 参加事業所に証明書などを贈呈

市は、緑化によってまちを美しく、手入れの行き届いたものにしていくため、まちなみの景観に貢献する樹木植栽や生垣、鉢植えなどによる緑化活動を「みどりのまち育て」と名づけ、こうした取り組みを自主的に行う事業者の皆さんを募集し、公表しています。

27年度は、7月3日から11月30日までの期間に募集し、新規参加事業所3件、継続参加事業所34件、合計37件の参加がありました。参加事業所へは、参加証明書と参加証明ステッカーを各1部、花の種継続参加事業所のみを贈呈します。

新規参加事業所

○プランニユー北上○合資会社南部ホテル○ア・ラーマ

継続参加事業所

○栄泉堂インター店○三陸菓匠さいとう北上本店○和ギャラリー雑貨屋○Le Midit
○Nomu Nomu○TRENTA
北上店○きたかみ風土○ランブル○銀寿司○珍竹林○南部屋敷北上店○枕流亭○和食処きくすい北上店○煌林○ホテルシティブラザ北上○草のホテル・くさのイン北上○ささもり耳鼻咽喉科医院○斎藤整形外科医院○室岡医院○松浦脳神経外科○中島医院○英会話レッツトーク○堤研一事務所○ミニストップ北上江釣子店○カフェ・ド・ラペ○ステーキ鉄板料理 和かな北上店○手風琴○芳野内科医院○株式会社平野ターフ○水曜屋○イタリアンダイニング
ラ・タヴェルナ○チェリープロッサム○びっくりドンキー
北上店○プティ・マルミット



市内の避難者状況

(12月31日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	2(0)	13(-1)	27(0)	18(0)	9(0)
人数	4(0)	25(-6)	45(0)	42(0)	17(0)
区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	9(0)	10(0)	9(-1)	97(-2)	
人数	11(0)	17(0)	19(-3)	180(-9)	

※()は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。



新規参加事業所のア・ラーマ

珈琲ブレイク

48

北上市長

高橋 敏

アジア経済視察その一

ハノイ編

先般、工業・農業・金融など各分野の代表と共にアジア経済視察を実施した。市は以前、中国視察を実施していたが、チャイナプラス・ワンの時代にあつて今回は、振興著しいベトナムとミャンマーに絞って企業の海外展開や農畜産物の輸出の可能性を探ろうと計画したものである。

お話を伺ったジェトロハノイ駐在所長の川田氏によると、近年、ベトナムへの日本企業の進出が急増しており、中でも中小、非製造業が増えているという。空港や高速道路などのインフラも日本のODAによって整備が加速し、日本企業グループが工業団地を開発している。2015年10月にはイオンモールも開業し、医療機関、ホテル、日本語学校、飲食店、理美容院、宅配なども進出が続いている。

ベトナムは対日関係も極めて良好で、日本の多くの自治体は積極的にビジネス機会を創出している。一方、法整備は未整備であり、行政手続きの不透明さなどに課題もある。TPPの影響については、米国向け輸出が伸びると予測されているものの、部品などの圏域内での生産が条件である。日本産品の輸出機会も増えるが、ベトナムに無いものが基本であり、乳製品や牛肉などが有望である。

企業訪問では、進出から5年目となる三重金属工業や当市に所縁のある西部農産ベトナム、多加良製作所などを視察。それぞれ進出した背景や苦労した点、今後の展望などを伺った。いずれの企業もベトナム人の若さや勤勉さ、親日の度合いを評価しており、まだまだ可能性のある国である事、企業進出を成功させるためには、現地企業や政府、国民とのwin-winの関係構築が重要である事を実感する訪問であった。次回のミャンマー編にもご期待いただきたい。